

令和5年度学校評価 評価項目・評価基準

英語によるコミュニケーション活動を通して、相手の思いを受け止めたり、自国の文化や伝統の良さに気づいたり伝えたりできる児童を育成する。（国際科）

評価項目【成果】	評価基準	評価	成果と課題
児童アンケートで、コミュニケーションや外国のことについての学びが「楽しい」と答える児童	A：11人以上 B：9人以上 C：B未満	A	日頃の授業や国際交流において、児童が興味関心をもち、楽しみながら取り組むことができる活動を設定することができている。継続する。
評価項目【教育活動】	評価基準	評価	成果と課題
互いに英語で言葉を交わす活動を取り入れる。	A：8割の授業で実施。 B：5～8割の授業で実施。 C：Bに満たない。	A	毎時間、英語で言葉を交わす活動を取り入れることができた。今後も、児童が目的意識をもって取り組むことができるような活動を行っていく。
外国の講師等から、外国の文化に触れる活動を計画的に取り入れる。	A：年間5時間以上 B：年間1～4時間 C：実施せず	A	1学期に2時間留学生との交流会を行った。2学期も交流会を行う予定である。ALTからハロウィンに関する授業も実施する。
評価項目【運営活動】	評価基準	評価	成果と課題
授業でねらいを達成するためにALTや外部講師と事前打ち合わせを行う。	A：8割の授業で実施。 B：5～8割の授業で実施。 C：Bに満たない。	A	事前打ち合わせを行うことができた。